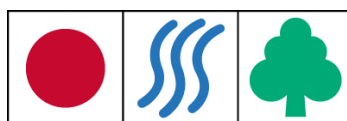


公益社団法人日本キャンプ協会公認キャンプインストラクター養成

# 新規課程認定団体申請マニュアル

(課程認定団体登録方法のご案内)

2022年度版



**NCAJ**

National Camping Association of Japan

公益社団法人 日本キャンプ協会

## もくじ

日本キャンプ協会について .....	2
--------------------	---

### <公益社団法人日本キャンプ協会公認キャンプインストラクター養成について>

1. 指導者養成制度について .....	3
2. 課程認定団体になると .....	4
3. 課程認定団体になるための手続き .....	5
4. 課程認定団体の申請にあたって .....	6
5. キャンプインストラクターの資格を取得すると！ .....	11

# 日本キャンプ協会について

公益社団法人日本キャンプ協会は 1966 年、全国の青少年団体や野外活動の研究者、教育者らによって設立され、2021 年、設立 55 周年を迎えました。

キャンプを通じた「人とひと」、「人と自然」のよりよい関わりを追求し、質の高いキャンプの普及を目指して、これまでに延べ 15 万人のキャンプ指導者を養成してきました。そして、それらの指導者が活躍し、地域に密着した独創性のあるキャンプが展開されることを目標に、全国に各都道府県キャンプ協会が設置され、地域に根ざした活動が展開されています。

また、これまで「キャンプの普及と振興」、「指導者養成」、「調査・研究」、「国際交流」、「安全管理」、「情報提供」を軸としたさまざまなキャンプの事業を通じて、地域社会の発展に貢献してきました。2012 年には公益社団法人として内閣府より認定され、さらに活動の幅を広げています。子どもをめぐるさまざまな問題や、体験活動の必要性が指摘される現代において、野外教育・自然体験活動のキャンプ指導者を養成し、資格を認定する団体として、今後ますます重要な役割が求められています。

## ●全国でキャンプを普及する活動をしています

子どもからお年寄りまで、「すべての人々にキャンプを」をテーマに、全国の都道府県キャンプ協会と連携し、さまざまな事業を行っています。

## ●「ビジョン 2025」を推進します

2016 年の設立 50 周年を機に、日本キャンプ協会は中期事業計画「ビジョン 2020」を策定し、推進しました。2021 年度には設立 55 周年を迎え、ネクストビジョンとして「ビジョン 2025」を策定し、キャンプの入門講座の普及（キャンプマイスターなど）や、新たなキャンプ事業の創造へのチャレンジなど、キャンプを社会の隅々まで届ける活動を、個人会員・都道府県キャンプ協会が中心となり取り組んでいきます。ビジョン 2025 は、日本キャンプ協会の Web サイトからご確認いただけます。



## ●キャンプインフォメーションセンターを開設しています

キャンプのことなら日本キャンプ協会へ。アウトドア活動の相談から指導者派遣、子ども向けキャンプ等の情報提供まで、情報発信窓口としてキャンプインフォメーションセンターを開設しています。昨今、新型コロナウイルスの影響でキャンプの需要・注目度が高まり、さまざまな問い合わせが寄せられました。

## ●関係団体と力を合わせ、キャンプの推進に取り組んでいます

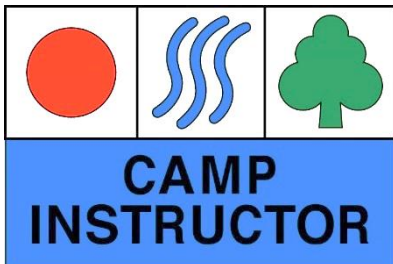
都道府県キャンプ協会や青少年教育団体などさまざまな団体と連携し、キャンプや自然体験活動の価値向上に取り組んでいます。

## <公益社団法人日本キャンプ協会公認キャンプインストラクター養成について>

### 1. 指導者養成制度について

日本キャンプ協会は、公益法人として、設立以来延べ15万人を超えるキャンプ指導者を養成してきました。この指導者養成制度によって、野外教育の専門職にとどまらず、地域社会に貢献できる指導者（リーダー）の養成を目指しています。現在は、以下3種類の指導者資格があります。

#### 公益社団法人 日本キャンプ協会公認 キャンプインストラクター



キャンプインストラクターは、キャンプでの活動（アクティビティ）を指導できる能力を持った指導者です。基礎的な知識、技術、考え方を習得していると認定される者に付与されます。また、この資格はキャンプディレクター2級、1級へステップアップするための基礎資格となります。

資格取得条件：満18歳以上であること

※次年度登録により認定日に満18歳であれば18歳以下でも受講可能。

#### 公益社団法人 日本キャンプ協会公認 キャンプディレクター2級

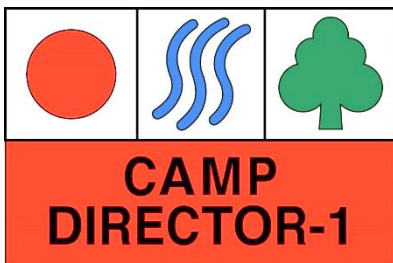


キャンプディレクター2級は、キャンプが果たす社会的な役割を理解した上で、自分自身でキャンプを企画し、多くの人にキャンプの楽しさを体験してもらう機会を創り出す役割を担います。プログラムディレクターの役割（組織キャンプにおいて、キャンプ長のもと、マネジメントディレクターと連携し、キャンププログラムに責任を持ち、プログラム全体の企画・運営・進行を行う知識・技術を持った指導者）とマネジメントディレクターの役割（組織キャンプにおいて、キャンプ長のもと、プログラムディレクターと連携し、キャンプのマネジメントに責任を持ち、施設対応、予算管理、スタッフの把握などの運営を行う知識・技術を持った指導者）があります。

#### 受講資格

- ・ キャンプインストラクター資格保有者（当該年度の会費納入が必須です）
- ・ キャンプインストラクター資格取得後、①1泊以上のキャンプ指導経験が1回以上  
②アウトドア活動参加経験2回以上

#### 公益社団法人 日本キャンプ協会公認 キャンプディレクター1級



キャンプディレクター1級は、地域や野外活動施設等で、キャンプのマネジメント、スーパーバイズ、管理運営などの役割を果たすことができる指導者です。また、地域社会の中で、諸機関と連携してキャンプへの関心を高めるさまざまなキャンプムーブメント推進活動（キャンプのプロモーション活動等）を企画・運営できる技術を持つ指導者と認めています。

また、この資格を得ると、キャンプインストラクター養成の担当講師として指導することができます。

#### 受講資格：

- ・ キャンプディレクター2級資格保有者（当該年度の会費納入が必須です）
- ・ キャンプディレクター2級資格取得後、①1泊以上のキャンプ指導経験が2回以上  
②アウトドア活動参加経験2回以上

養成講習会の日程や詳細は、Webサイトでご案内しています。

## 2. 課程認定団体になると

日本キャンプ協会では、学校の授業や団体の講習等と連動して、キャンプインストラクター資格が養成できる「課程認定団体制度」を設けています。授業の単位、講義・実習やスタッフリーダートレーニングとの互換を図ることで、資格取得を希望する学生にとっては、各自で講習会を受講する必要がなくなり、とても便利です。

### ●初年度にかかる費用

#### 入会金 10,000 円、年度会費 10,000 円（毎年）

団体会員としての会費以外に課程認定のための特別な費用はかかりません（団体会費は非課税）。

<参考>

- ・各個人が資格取得の際に必要な費用（登録諸費用）は 10 ページをご覧ください。
- ・講義や実習などにかかる費用は、団体側で必要に応じて設定してください。

### ●授業（講義）や実習を担当する講師

キャンプディレクターⅠ級資格を有している担当講師Ⅰ名以上の登録が必要です。

（常勤、非常勤は問いません）

なお担当講師でお困りのことがあれば、講師派遣等に応じますので、お近くの都道府県キャンプ協会にご相談ください。

### ●課程認定団体へ事務手数料をお支払いします

登録申請者Ⅰ名につき、2,000 円の事務手数料を課程認定団体にお支払いします。

（実際には、一人あたりの申請費用 15,300 円から、上記の事務手数料 2,000 円を差し引いた 13,300 円を日本キャンプ協会にご納入ください。）

### ●授業（講義）・実習の方法は自由に設定できます

日本キャンプ協会が定める 20 時間分のカリキュラムを含む内容であれば、授業（講義）・実習はどのように設定していただいても構いません。

### ●課程認定団体はキャンプインストラクターの試験を実施し、採点や合否決定を行うことができます

### ●講習の修了時に、課程認定団体が「キャンプインストラクター認定証」を授与できます

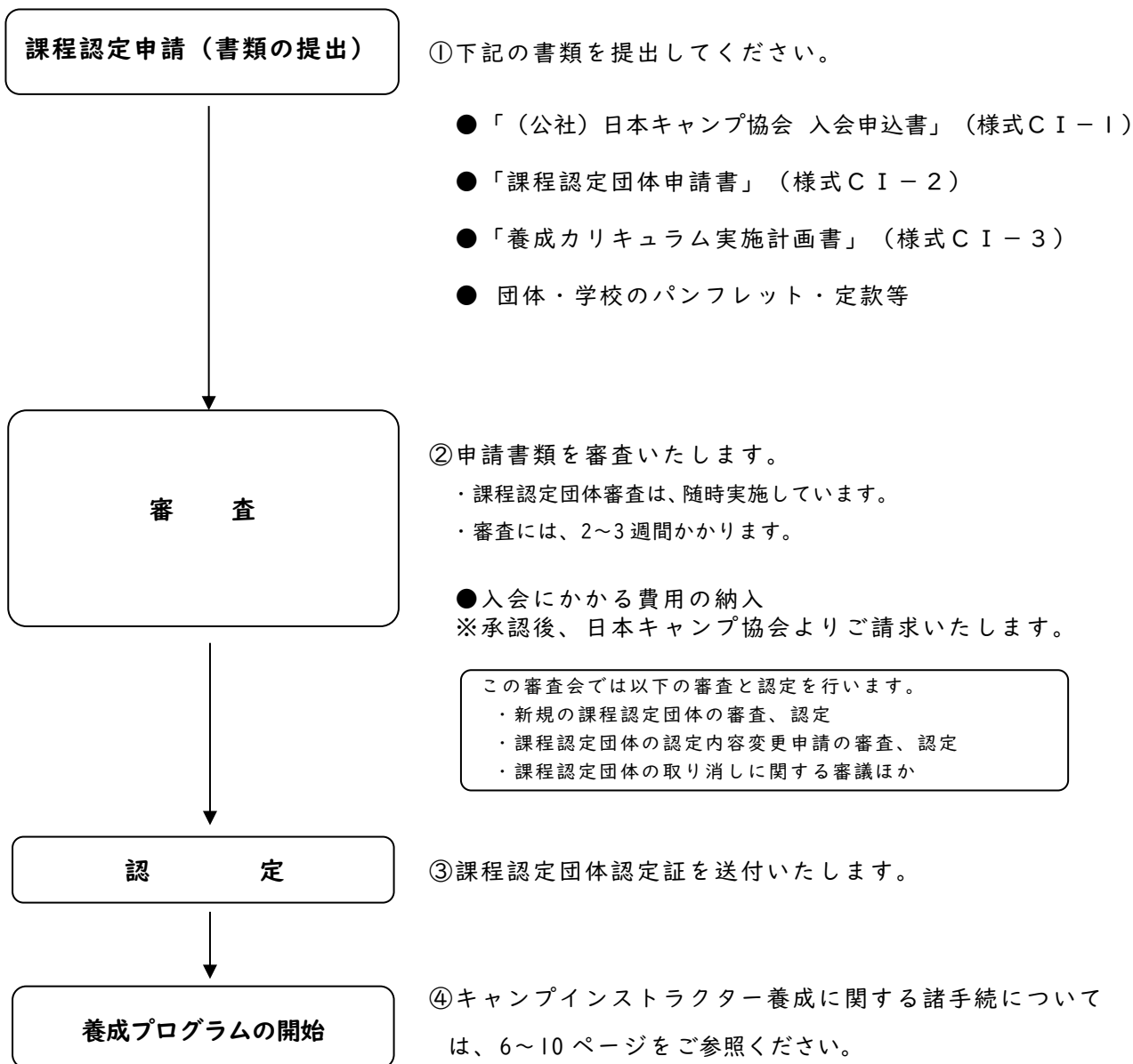
### ●認定証は、課程認定団体で発行できます

その他、詳細については、次ページ以降をご覧ください。

### 3. 課程認定団体になるための手続き

#### (1) 課程認定団体の申請・審査・認定

初めて課程認定団体申請を行う場合は、下記の手続きが必要になります。各申請書類の作成にあたっては、事前に日本キャンプ協会にお問い合わせください。課程認定団体の審査に関する費用はかかりません。



#### (2) 課程認定団体申請にかかる費用

課程認定団体になるためには、本協会に団体会員として入会していただきます。

- ◆ 団体会員の費用 ・ 入会初年度 20,000円 (入会金 10,000円、年度会費 10,000円)
- ・ 次年度以降 年度会費 10,000円

※ 入会金、年度会費は非課税です。

※ 「課程認定料」はございません。

課程認定団体には、キャンプや野外活動に関する会報紙『CAMPING』を年4回(季刊号)で送付するほか、日本キャンプ協会が発行する研究誌『キャンプ研究』や当該年度に発行したキャンプ関連資料等も送付いたします。また、日本キャンプ協会主催の講演会や研修会など各種事業に参加できます。さらには、キャンプインストラクターの資格発行をしている団体として、本協会のWebサイトでご紹介(リンクを掲載)いたします。

## 4. 課程認定団体の申請にあたって

### (1) 養成担当講師

養成を担当する(単位を認定する)講師の条件は、日本キャンプ協会公認キャンプディレクター1級資格保有者であることです。また、キャンプインストラクター養成プログラムの実施に際しては、以下の点にご注意ください。

- ・認定を受けている担当講師以外が養成カリキュラムを指導することは、原則として認められません。
- ・担当講師が資格の更新をしていない場合は、当該年度の養成が認められない場合があります。
- ・担当講師を変更する場合は、講習会開催より前に変更申請が必要です(様式CI-2、CI-3)。

### (2) テキスト

キャンプインストラクター養成カリキュラム(理論、実技)を実施する際には、必ず下記のテキストを使用してください(様式CI-5)。

※テキストは日本キャンプ協会直販です。

名 称 『キャンプ指導者入門 第5版』 B5版、226ページ

発 行 公益社団法人日本キャンプ協会

価 格 2,200円(税込)

※10冊以上49冊以下購入の場合 →10%引き  
50冊以上購入の場合 →20%引き

※返本は未精算の場合に限ります。精算済みの返本はお受けできませんのでご了承ください。

※返本が発生した場合は、未精算の請求書・納品書とあわせて事務局までお送りください。

(返本に係る送料はご負担ください。)

※事務局にて返本を確認後、改めて請求書を再発行し、再送します。

※お振込み先は、請求書に記載された口座をお願いいたします。

○日本キャンプ協会 Web サイトより、講義・実習に役立つシートや資料類が無料でダウンロードできます。下記 URL と QR コードをご参照ください。

<https://camping.or.jp/archive>



### (3) カリキュラム

キャンプインストラクター養成のカリキュラムは下記のとおりです。時間数は必要最低時間ですので、実施にあたっては十分にキャンプの体験ができるよう、余裕を持った講義・実習プランを立ててください。

理 論 (10時間)	
1. キャンプの特性 (2時間)	・ キャンプの目的と意義 ・ キャンプの組織と種類 ・ キャンプのルールとマナー ・ 環境教育とキャンプ
2. キャンプの対象 (3時間)	・ 人間と自然の関係 ・ 人間の理解 ・ 自然の理解
3. キャンプの指導 (3時間)	・ キャンプインストラクターの役割 ・ キャンプにおけるカウンセリング ・ 指導者のためのコミュニケーションスキル ・ キャンパーの観察と記録
4. キャンプの安全 (2時間)	・ キャンプにおける安全の考え方 ・ 安全管理の実際① ・ 安全管理の実際② ・ 事故事例に学ぶ
実 技 (10時間)	
1. キャンプの安全 (1時間)	・ ファーストエイドの実際 ・ フィールド調査 ・ 危険予知とその対処
2. キャンプの生活技術 (4時間)	・ テント設営 ・ 野外炊事 ・ 工具及び道具使用法 ・ ロープワーク ・ 天気予報、観天望気
3. さまざまな アクティビティ (5時間)	・ 野外ゲーム ・ キャンプソング ・ キャンプファイアー ・ 登山 ・ ハイキング ・ キャンプクラフト ・ 星座観察 ・ 自然観察 ・ 野鳥観察 ・ 冒険プログラム ・ ニュースポーツ ・ 創作芸術活動 ・ 雪上活動 ・ 地域研究 ・ 水辺活動 ・ 各種パッケージドプログラム ・ オリエンテーリング ・ ウォークラリー ・ サイクリング ・ 採集活動 ・ ナイトプログラム ・ イニシアティブゲーム

### (4) 講義・実習方法

#### ① 理 論

テキストに記載された内容を解説することを原則としますが、担当される講師の経験や地域の特性に配慮した内容で実施することが可能です。

#### ② 実 技

テキストに記載された内容を行うことを原則としますが、実習会場となるキャンプ場の形態や地域の特性、実施する季節に応じた内容に配慮して実施することが可能です。

実際の講義・実習の実施にあたっては、指導者資格認定規程に基づき、各団体の実情に応じたプログラム作りが可能です。

講義・実習プラン(例)は次ページ以降をご参照ください



## ＜キャンプインストラクター養成 講義・実習プラン(例)＞

### 参考例 1. 通年型

回	内容
1	理論①キャンプの目的と意義 キャンプの組織と種類 (1時間)
2	理論①キャンプのルールとマナー 環境教育とキャンプ (1時間)
3	理論②人間と自然の関係 (1時間)
4	理論②人間の理解 (1時間)
5	理論②自然の理解 (1時間)
6	理論③キャンプインストラクターの役割 キャンパーの観察と記録 (1時間)
7	理論③キャンプにおけるカウンセリング (1時間)
8	理論③指導者のためのコミュニケーションスキル (1時間)
9	理論④キャンプにおける安全の考え方 安全管理の実際① (1時間)
10	理論④安全管理の実際② 事故事例に学ぶ (1時間)
11	実技①キャンプの安全 (1時間)
12～15	実技②キャンプの生活技術 (4時間)
16～20	実技③さまざまなアクティビティ (5時間)
21	試験 (理論)

### 参考例 2. 通年＋集中型

回	内容
1	理論①キャンプの目的と意義 キャンプの組織と種類 (1時間)
2	理論①キャンプのルールとマナー 環境教育とキャンプ (1時間)
3	理論②人間と自然の関係 (1時間)
4	理論②人間の理解 (1時間)
5	理論②自然の理解 (1時間)
6	理論③キャンプインストラクターの役割 キャンパーの観察と記録 (1時間)
7	理論③キャンプにおけるカウンセリング (1時間)
8	理論③指導者のためのコミュニケーションスキル (1時間)
9	理論④キャンプにおける安全の考え方 安全管理の実際① (1時間)
10	理論④安全管理の実際② 事故事例に学ぶ (1時間)
11～20	実技①キャンプの安全 (1時間) 実技②キャンプの生活技術 (4時間) 実技③さまざまなアクティビティ (5時間)
21	試験 (理論)

### 参考例 3. 集中型

\* 2泊3日の実施例として

(休憩時間を含む)

	1日目	2日目	3日目
7:00		朝食など	朝食など
9:00	集合・オリエンテーション	理論④ キャンプの安全	実技③ さまざまな アクティビティ
	理論① キャンプの特性	実技① キャンプの安全	
12:00	昼食	昼食	昼食
16:00	理論② キャンプの対象	実技② キャンプの生活技術	筆記試験
			修了式
17:00	理論③ キャンプの指導		解散
18:00	夕食	夕食	
20:00	理論③ キャンプの指導	実技③ さまざまな アクティビティ	

※この講義・実習プランは、必要最低時間数での実施を想定しています。

実際に講義・実習プランを計画する際には、天候によるプログラムの変更や自然の中での活動を楽しむための時間的余裕などを考慮して、3泊4日以上での実施をおすすめします。

## (5) 試験

すべての講義・実習が終了した後に試験を行ってください。試験問題は日本キャンプ協会で作成したものを使用してください。

①試験の範囲 『キャンプ指導者入門 第5版』

②採点は団体の責任において実施します。6割以上（50点中30点以上）の得点を合格として合格者を決定してください。

**試験時間**：60分

**試験問題**：2種類あります（①と②）。どちらかで試験を実施してください。

※試験問題は無料で配布しますので、ご請求ください（様式C I - 5）。

試験問題①②の出題範囲比較表

	試験問題①	試験問題②
理論	キャンプの組織・役割 キャンプ中の身体の変化 キャンプ地の特性と安全管理 グループダイナミクス キャンプの記録の意味や原則 安全管理	キャンプと存在意義 発育・発達 キャンプ地の特性 指導者に必要なスキル グループダイナミクス 安全の考え方
実技	生活技術 アクティビティやプログラム アクティビティ 安全管理	キャンプの装備 冒険プログラム 応急処置

### ◆試験の採点及び結果について

試験の採点は、課程認定団体で厳正に行ってください。

試験結果は、日本キャンプ協会へ報告いただく必要はありません。使用後の試験用紙は、団体で責任をもって処理してください。

## (6) 登録諸経費

キャンプインストラクターの登録に必要な初年度の金額は、下記のとおりです。

受験料 (税込)	公認料 (税込)	登録料 (税込)	入会金	年度会費		課程認定 団体 事務手数料	合計
				日本 キャンプ 協会	都道府県 キャンプ 協会		
1,100円	1,100円	1,100円	5,000円	3,000円	2,000円	2,000円	15,300円

※上記のうち2,000円（課程認定団体事務手数料）は課程認定団体で収納し、13,300円×人数分を日本キャンプ協会に送金してください。

※課程認定団体事務手数料は、必要ない場合は受講生から徴収する必要はありません（大学など）。

- ・12月15日以降の受付分は、次年度扱い(詳しくは課程認定団体マニュアル参照)となります。
- ・キャンプインストラクター資格は毎年更新が必要です。受講生に周知をお願いいたします。更新時には年度会費(3,000円)・更新料(1,100円※税込)・都道府県協会費(2,000円)の合計6,100円(税込)が必要です。

※大阪府キャンプ協会は、府協会費が3,000円ですので、更新料は7,100円(税込)となります。

## 5. キャンプインストラクターの資格を取得すると！

受講者がキャンプインストラクターの資格を取得すると、日本キャンプ協会公認のキャンプ指導者となります。有資格者として活動が推進できるように、日本キャンプ協会では下記のような特典やサービスをご用意しています（会員証記載の有効期間内に限ります）。

### 出会いと活動の場が広がります！

キャンプインストラクター資格を取得すると、日本キャンプ協会と都道府県キャンプ協会に登録されます。それにより、日本キャンプ協会や都道府県キャンプ協会が主催するキャンプやイベント、さまざまなテーマの講習会やセミナーなどの情報を得ることができ、参加することで、多くの人との出会いや活動の場が広がります。

### 会報誌『CAMPING』、メールマガジン等が購読できます！

日本キャンプ協会が会員向けに発行する『CAMPING』（年4回）では、指導者としての活動に必要な情報を掲載しています。国内外のキャンプや野外活動に関する情報、お知らせなど盛りだくさんです。また、会員登録時にメールアドレスを記入することで、メールマガジン（毎月1回程度）が購読できます。さらに、会員同士の交流を深め、情報共有をしたい方は Facebook を利用した「会員のひろば」を利用できます。広報誌だけでは伝えきれない、きめ細やかな情報をタイムリーにお届けします。

### Webサイト「会員限定ページ」にアクセスできます！

◇IDとパスワードは会員証に記載しています。  
会員限定ページにアクセスすることで、下記の保険や、団体パスの申請が可能になります。

### 「指導者賠償責任保険」が付与されます！

◇引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社

日本キャンプ協会公認の資格を有する指導者が、キャンプ引率中の事故について、指導者として法律上の損害賠償責任を負うことになった場合に被る損害を下記の内容で補償するものです。万が一の事故に備え、指導者として責任をもってキャンプを実施することができます。

◇補償限度額 対人1名5,000万円、対人1事故3億円、対物1事故1,000万円

◇キャンプ中のケガや病気等による通院費などを補償するのは、以下のキャンプ保険になります。

### 補償が大きく割安な「傷害保険」が利用できます！

◇引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社、損害保険ジャパン株式会社

本協会公認の資格を有する指導者が実施するキャンプについて、一般の傷害保険より補償内容を充実させた「キャンプ保険（国内旅行傷害保険）」と「デイプログラム保険（レクリエーション保険）」を利用することができます（会員以外の方は利用できません）。

加入手続きも簡単です。詳細はパンフレットを請求するか、本協会 Web サイト会員限定ページをご覧ください。

【キャンプ保険】 ◇掛け金 1泊2日以内：489円/人、3泊4日以内：589円/人、6泊7日以内：693円/人

◇補償内容 死亡・後遺障害1,000万円、入院・通院4,200円/日、賠償責任限度額1億円（免責0円）/1事故

【デイプログラム保険】 ◇掛け金 活動A：52円(1人)、活動B：253円(1人)、活動C：503円(1人) 活動内容によって掛け金は変わります。また、補償できない場合もありますので、事前にご確認ください。

◇補償内容 死亡・後遺障害1,000万円、入院5,000円/日、通院3,000円/日

### ユースホステル団体パスが利用できます！

一般財団法人日本ユースホステル協会との提携により、本協会認定指導者への特典としてユースホステル団体パスが利用できます。

◇希望者は、ユースホステル団体パス（5,000円）が無料で発行されます。詳細は本協会 Web サイトの会員限定ページをご覧ください。

**一番大きな特典は、リーダーシップが身に付くことです。**

**「明日の指導者（リーダー）は今日つくられる！」**